

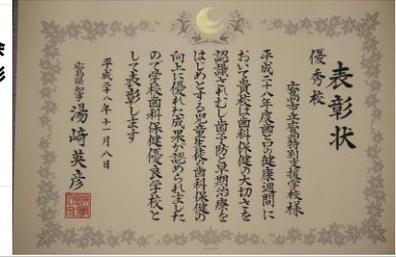
# 学校だより

明るく 元気に たくましく

平成28年11月30日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行  
TEL 082-250-7101  
FAX 082-250-7102  
E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp  
ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>

広島県歯科医師会  
広島県歯科衛生士連絡協議会  
平成28年度歯の健康表彰  
◇学校歯科保健優良学校  
【優秀賞 県知事賞】  
の表彰を受けました。



## □ はじめに

早いもので今年も残すところ後1か月になりました。急に冷え込み始め今年の秋は短かったという感じがいたします。11月初旬には北海道では記録的な積雪、太平洋では季節外れの台風の発生、下旬には54年ぶりの東京の初雪と初積雪など「記録的」「観測史上最も」という言葉が聞き慣れてしまうほど異常な気象状況が今年も数多く聞かれました。今年の地球の平均気温は3年連続で最高気温を更新することが確実であると報道されていました。地球の悲鳴が聞こえてくるようです。大切な子どもたちの住みよい未来を私たち大人は守ってやらなければなりません。できることから始めていく努力をしていきたいものです。今後は、風邪やインフルエンザ、ノロウイルスに代表される感染性胃腸炎の流行も懸念されることです。広島市でも昨年より1か月早くインフルエンザによる学級閉鎖が報告されました。24日には最近5季で最速の流行入りが発表されました。学校も一層保健指導の徹底に努めてまいります。御家庭でもお子様の健康管理に充分御留意いただきますようお願いいたします。皆様がお元気で、家族そろって今年一年を有意義に締めくくることができるよう心からお祈り申し上げます。

## □ 第57回広島県特別支援教育研究大会（広島大会）

11月2日（水）、第57回広島県特別支援教育研究大会広島大会が広島市で開催されました。本校は第1分科会で小学部第2学年1組が「自立と社会参加を目指す『わかる』『できる』日常生活の指導」のテーマで公開授業と協議会を行いました。昨年まで3年間、全国学校体育研究大会広島大会での授業公開、研究発表を目標に、適切な人的支援環境、物理的支援環境の整備、支援の工夫を追求して大きな手応えをつかみました。今年度は「体育学習から日常生活の指導」を切り口にして、環境づくりに視点を当て、更に児童生徒が「わかる」「できる」「かかわりあう」授業づくりを目指して研究を重ねてきました。自分で主体的に選び、理解し、進んで役割を果たしたり、自分の気持ちや思いを表現したりする児童の姿に取組の成果が表れていました。広島県内の特別支援学校や小学校からの参加者を含めて25名が自立と社会参加につながる日常生活の指導内容や指導・支援の在り方についての研修を深めました。来賓として広島県教育委員会から特別支援教育課課長補佐兼指導係長 西岡律子 様、広島県特別支援学校校長会会長 山口秀美 様、主催者側からも大会長の広島市立牛田中学校長 三村千秋 様を始め多くの方々においでいただきました。誠にありがとうございました。

また、講評で本主題の下、課題の設定の仕方、「できた、うれしい、楽しい」を実感させる教育的瞬間の大切さ、「わかる」「できる」をつなぐ支援と評価の在り方についてなど貴重な御教示いただいた指導・助言者の広島市教育センター主任指導主事 戸田美鈴 様に厚くお礼申し上げます。

## □ 避難訓練

10月31日（月）に学校の中心のひかりのひろば2階から火災が発生したと想定し、避難訓練を行いました。避難訓練は「命を守るための学習」です。火災が発生したときにいかに迅速に安全な避難経路を判断し、適切な指示・誘導ができるかが非常に大切です。そのためには訓練といえども緊迫感をもって避難訓練に臨むように常に教職員には指示をしています。今回は実際に煙装置を使い、火災現場付近の防火扉や防火シャッターが降りる臨場感ある状況の中での避難で、様々な情報を素早く収集し、安全で確実な避難場所、避難経路を判断し、明確に指示することが必要です。全教職員、児童生徒は真剣に取り組み、全員が整然と隊列を作って迅速に避難することができていました。今回は、広島南消防署と水上消防署の消防隊に来ていただきました。「緊張感ももち、安全に避難できて安心しました。」と高い評価をいただきました。避難の後は教師の代表9人が水消火器で初期消火訓練、ポンプ車がグラウンドに入り、迫力ある放水訓練を見学することができ、児童生徒は驚きの表情で見つめていました。実施後の会議では初期消火実施の判断基準の確認、受けた指示を声に出して復唱することの重要性、状況により確認・通報・消火・避難の優先順位を適切に判断すること等の助言をいただきました。次回の避難訓練に生かし、児童生徒がより安全に避難できるよう更に改善を図っていきます。

口に布を当てて  
「お・か・し・も」

消防音楽隊でもなじみの広島市南消防署  
予防課 川岡消防士長の講評

先生方の水消火器訓練

放水訓練に見入る児童生徒

消防車・消防士さんと一緒に



## □ 第23回文化祭

11月18日（金）、19日（土）に第23回文化祭を開催しました。文化祭は、児童生徒がこれまで生活単元学習や作業学習等で学習した成果の集大成です。全校児童生徒が文化祭という共通のテーマで、様々な活動に主体的に一生懸命取り組んでいる姿が強く印象に残りました。共に達成感・満足感を味わい、将来の自立と社会参加に必要な力を獲得することができたことと思います。

文化祭を開く会でテーマソング「恐竜サンバ」を元気よく踊るマスコットキャラクター恐竜くんと生徒会生徒

今年度は広島市教育委員会教育委員長 井内康輝 様、教育委員 溝部ちづ子 様、藤本圭子 様、栗栖長典 様、広島市教育長 尾形完治 様、広島市教育委員会青少年育成部長 荒瀬尚美 様、指導担当部長 湧田耕辰 様、総務課長 谷康宜 様、特別支援教育課長 児玉安司 様、広島市健康福祉局障害福祉課長 細田益啓 様、本校学校協力者会議委員長 江上正明 様を始め、非常にたくさんの御来賓や保護者の皆様、卒業生、交流校の児童生徒、地域の皆様、元本校職員の方々など二日間で1,700名を超える来校者がありました。本校に厚い御理解と御支援をいただき、児童生徒の活動を温かく見守り優しく言葉を掛けていただく姿に、改めて多くの人たちに支えられていることを実感し、感謝の気持ちで胸が熱くなりました。足下の悪い中御来校くださり、今年度も盛会裏に終わることができました。誠にありがとうございました。また、受付・駐車場係に御協力いただきましたPTAの皆様にも心より感謝申し上げます。今後も行事のための学習ではなく、学習の成果を行事を通して発表するという視点に立ち、より一層教育内容の充実を図るよう努めてまいります。



作品や製品等の展示を見学される御来賓



職業コース「喫茶スマイル」で江田島焼きの茶器でおもてなし



訪問学級「ハウモンGO」、小6「なげっこランド」でゲームを楽しむ児童



高等部の「シャインオブ 陶芸」で買物をする中学部生徒

□ **楽しかった！おいしかった！第37回障害児子どもまつり**

10月29日(土) 障害児子どもまつりが本校で開催されました。本校PTAは「お菓子釣り」「おたのしみすくい」「フライドポテト」「リサイクルバザー」で参加・出店をしました。PTA文化厚生部の役員の方々を始め50名の保護者の方にお手伝いをいただきました。皆さんのおかげで四つのコーナーは大盛況。楽しい！おいしい！とたくさんの笑顔の輪が広がりました。バザー品の提供から値付け、店作りなどの準備から当日の片付けまで御協力ありがとうございました。



□ **「2016希望郷いわて大会」教育長表敬訪問**

岩手県で行われました第16回全国障害者スポーツ大会で水泳25m及び50m平泳ぎで二つの銀メダルを受賞した高等部1年A組佐久間悠君と一般卓球で、銅メダルを受賞した高等部3年A組小野祐輝君が、11月14日(月)に、広島市教育長 尾形完治 様を表敬訪問いたしました。受賞を報告した二人に対して、尾形教育長から「素晴らしい成績を修められ、誠におめでとございます。これまで重ねられた皆さんの努力と関係者の皆様の情熱に敬意を表します。これまで支えてくださった御家族や指導者、先生方への感謝の気持ちを忘れず今後も競技や勉強を頑張ってください。」等のお言葉をいただきました。29日(火)には広島県教育委員会教育長 下崎邦明 様を広島県の7校9名の代表選手と共に表敬訪問し、結果報告をしました。



尾形教育長に受賞を報告する小野君(奥)と佐久間君(手前)

□ **第28回宇品公民館祭りに参加**

11月12日(土)13日(日)に第28回宇品公民館祭りが行われ、昨年度に引き続き職業コースの生徒が手作りパンの販売を行いました。本校学校協力者会議委員の館長 清水武 様に力添えをいただき、今年度は12日(土)にブースを提供していただきました。朝から焼いた200余りのパンは1時間足らずであっという間に完売。地域の方々に本校の取組を知っていただくとともに、地域に貢献できる良い機会をいただき誠にありがとうございました。

清水館長と販売の生徒(朝から学校でパン焼きをしてくれた生徒にも感謝)



□ **第30回広島市青少年健全育成市民大会「青少年からのメッセージ」高等部生徒2名が表彰**

市民総ぐるみで青少年健全育成活動を推進するとともに、市民の意識の啓発を図ることを目的に行われている本大会で、「未来の自分のために今頑張ること」をテーマとしたメッセージに応募した高等部3年A組山本恵莉果さんが銀賞、3年B組竹田晃君が銅賞に見事選ばれて、19日(土)表彰式が行われました。作文の部では「高校生・一般の部」で4名、全体でも12名だけが選ばれる大変名誉ある賞です。二人とも将来の夢の実現に向けて今の自分の課題を冷静に見つめながら前を向いて精一杯頑張ろうとする気持ちを表現した素晴らしい作文でした。志があれば必ず道は開けます。皆さんの夢がかなうよう全力でサポートするとともに夢が実現することを願って止みません。



松井市長から表彰状を受け取る山本さん

□ **御来校いただいた方々(教育相談での見学は除いています。)**

日付	団体名等	人数
11月2日(火)	第57回広島県特別支援教育研究連盟広島大会 第1分科会参加者(来賓を含む)	15名
11月9日(水)	山本地区民生委員・児童委員協議会学校見学	16名
11月9日(水)	京都府教育庁(設計業者5名)視察	12名
11月15日(火)16日(水)	介護等の体験	99名
11月14日(月)~17日(木)	学校行こう週間で来校いただいた見学者	16名
11月18日(金)・19日(土)	第23回文化祭	1,703名
11月26日(土)	広島県特別支援第2回学校流通・物流技能検定他校生徒 12名、県教委・市教委4名、他スタッフ21名	37名

